

アドラー心理学におけるライフスタイル診断シートの開発と ビッグファイブ性格特性との関連性

The Development of Lifestyle Questionnaire Based on Adler's Typology and Its Relationship to Big Five Personality Traits

堂坂 更夜香 (Sayaka Dosaka) 指導：向後 千春

1. 背景と目的

アドラー (1956) は、人それぞれに、その人独自の思考や行動傾向があるとして、それをライフスタイルと呼んだ。また、人間の全ての悩みは対人関係からくと述べている。個人のライフスタイルを理解することができれば、多様な場面においてよりよい人間関係の構築が期待できる。そこで、本研究では、ライフスタイルを簡単に自己診断できるシートを開発し、ビッグファイブ性格特性との関連性をみることで、妥当性を検証することを目的とした。

2. ライフスタイル診断シートの作成と検証

2.1 方法：質問紙調査

アドラーのライフスタイル理論に基づき、最優先目標の4つのタイプ「A安楽でいたい」「B好かれたい」「C主導権をとりたい」「D優秀でいたい」を選択できるようオリジナルの質問14項目を作成し調査を行った。設問ごとに最もあてはまるものに◎ (2点) を、つぎにあてはまるものに○ (1点) を回答してもらった。対象者は、2014年6月～2015年11月まで全国各地で行われたアドラー心理学入門講座など、計29回の講座受講生1,101名であった。

2.2 結果

有効回答者は1,101名 (男性362名, 女性732名, 未回答者7名) で平均年齢は43.11歳 ($SD=12.98$) であった。

クロンバックの α 係数を算出した結果、A項目 $\alpha=.692$, B項目 $\alpha=.605$, C項目 $\alpha=.607$, D項目 $\alpha=.647$ であった。

ライフスタイル診断シートによる回答項目が、ライフスタイル類型ABCDとして適切に作成されているか検証するために数量化Ⅲ類で解析した。分析には、2点 (◎印) データのみ採用した。2点データを1-0データに加工し、Black-Boxによる数量化Ⅲ類分析を行った。初期解が48解であったため2解指定で行った。その結果、2つの回答項目を除いてABCDごとにカテゴリー布置された (図1)。

3. ビッグファイブ性格特性との関連性

3.1 方法：質問紙調査

ライフスタイル類型とビッグファイブ (TIPI-J) との関連性を検証した。調査協力者は、2014年6月～2015年11月まで各地で行われたアドラー心理学入門講座など、計16回の講座受講生709名 (男性251名, 女性455名, 未回答者3名) で平均年齢は41.89歳 ($SD=13.96$) であった。

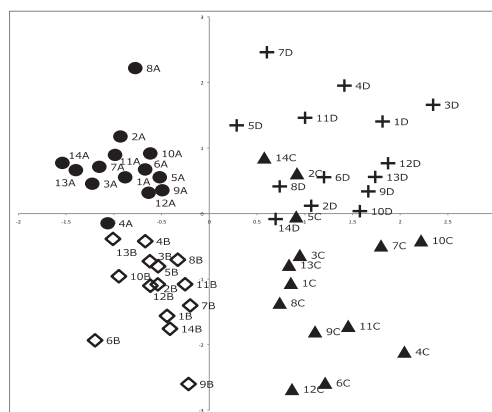


図1. ライフスタイル診断シート回答項目の2次元分布

表1. ライフスタイル4因子とビッグファイブ5因子による重回帰分析の標準回帰係数

	A. 安楽でいたい	B. 好かれたい	C. 主導権をとりたい	D. 優秀でいたい
外向性	-.28 **	.19 **	.26 **	-.13 **
協調性		.38 **	-.16 **	-.21 **
勤勉性	-.34 **	-.14 **	.20 **	.31 **
神経症傾向	-.19 **	.19 **		
開放性	-.17 **	-.12 **	.10 **	.20 **
R	.52	.41	.41	.38

** $p<.01$, * $p<.05$

3.2 結果

ライフスタイル類型の4因子「安楽でいたい (A)・好かれたい (B)・主導権をとりたい (C)・優秀でいたい (D)」を従属変数に、性格特性ビッグファイブの5因子「外向性・協調性・勤勉性・神経症傾向・開放性」を独立変数として重回帰分析 (ステップワイズ法) を行った。その結果、正と負と有意な回帰係数が多く示された (表1)。これは、ライフスタイル類型のA, B, C, Dそれぞれの特性と「課題達成重視型」か「対人関係重視型」かの軸レベルにおいてもビッグファイブ特性と関連性が高いことが示唆された。

4. 考察と結論

これらの結果より、質問14項目で構成したライフスタイル診断シートは、ライフスタイル類型別に適切に作成されていることが示唆された。また、ビッグファイブとの関連性が高いことが示され、ライフスタイル診断は単なる類型だけでなく性格特性を推測するにも期待できることが示唆された。項目改善案を検討し、より簡易で洗練されたライフスタイル診断シートの開発が今後の課題である。

引用文献

Adler, A. (1956). *The Individual Psychology of Alfred Adler*, Ansbacher, H. L. & R. R. Ed., Harper & Row Publishers, New York